

We support the **ILC**

# 希望の

第63回

# ひかり

ILC（国際リニアコライダー）計画の各種最新情報をお届けします

## ILC建設最終合意は3～5年後

1月10日に一関市内で開かれたILCの現状説明会において、東京大学素粒子物理国際研究センターの山下了特任教授が今後の想定スケジュールを示しました。

国際研究者組織は日本政府に対し、3月7日までに誘致の意思表明を求めています。日本政府が国際協議を始める意向を表明した場合、2020年に建設費の国際分担の大枠合意をし、各国政府間で研究所の運営方法や経費、人的資源の分担に関する本格交渉を経て、22～24年に最終合意に達するとの見通しです。

山下特任教授は、「政府は、

1歩踏み出すとと思っている。地元として一致団結し、できることは何でも取り組んでいくことが重要だ」と呼び掛けました。

## 東北一丸で政府与党要望

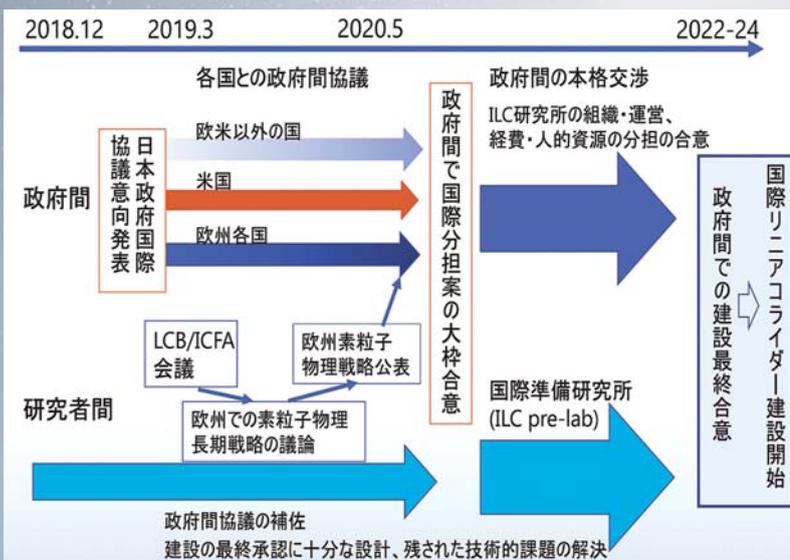
東北ILC推進協議会（高橋宏明代表）は12月21日、内閣府、文部科学省、自民党を訪問し、要望活動を行いました。高橋代表のほか、達増拓也岩手県知事、村井嘉浩宮城県知事をはじめとした各県代表、小沢昌記奥州市長、勝部修一関市長など候補地自治体の代表らが「社会的な意義も含めた政府判断と、わが国主導による速やかな国際協議の開始」を要望しました。

この要望活動の中で小沢市

長は、「ILCは、子どもたちの非常に強いモチベーションをつくり上げる原動力になると信じている。将来の日本を背負う子どもたちのためにも、ILCをぜひ、前向きに検討してほしい」と訴えました。これに対して柴山昌彦文部科学大臣は、同日午後に行われた記者会見で、「社会的な意義なども踏まえた総合的な検討が必要になる」と答えました。



左藤章内閣府副大臣（中央右）に要望書を手渡す高橋代表と訪問団



\* LCB/ICFA: 世界の主要加速器研究所長や研究者代表による国際研究者組織  
\* ILC pre-lab: KEK, CERN, FNAL, DESY 等の世界の主要加速器研究機関の合意に基づくILC準備のための国際研究組織  
日本政府が3月7日までに、前向きな意思表示をした場合の想定スケジュール

## 市議連 ILC看板設置(江刺第一中)～未来を拓くILC～



校門脇に設置された看板

市議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟（渡辺忠会長）は、市内全域でのILC誘致への機運醸成とILCのさらなる普及啓発を図るため、市内中学校作成イラストによるPR看板の設置を進めています。本年度2カ所目の完成となった江刺第一中学校（千葉和仁校長）の看板には、黄金に輝く稲穂の上に、ILCトンネルや鹿踊などがあしらわれています。看板の原画を描いた同校美術部の細田来望さん（3年）と高橋まみさん（3年）は、「ILCに、いろんな人が集まり、にぎやかなまちになってほしい」と夢を膨らませました。また、渡辺会長は「市、県も全面的に誘致を進めている。生徒たちの気持ちも関係機関に伝え、ILCを実現させたい」と力を込めました。

本コーナーでは、ILC計画について皆さんからの質問にお答えします。電子メール、ファクスでお気軽にご質問ください。  
■問い合わせ先 本庁1階推進室（内線1442） ☎029633-1100 ilc@city.ostu.lwate.jp